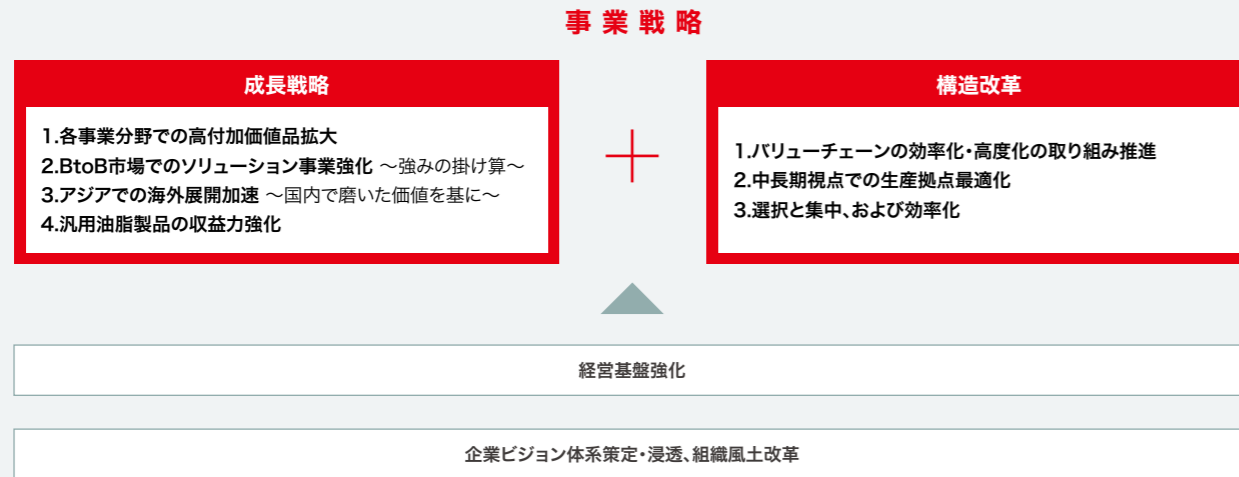


第五期中期経営計画の軌跡

2017年度を初年度とする4か年の第五期中期経営計画「油を究めて幸せを創る2020」では、相場起点の装置産業から顧客起点の価値創造企業への転換を目指し、長期的な成長のための基盤づくりに取り組んできました。



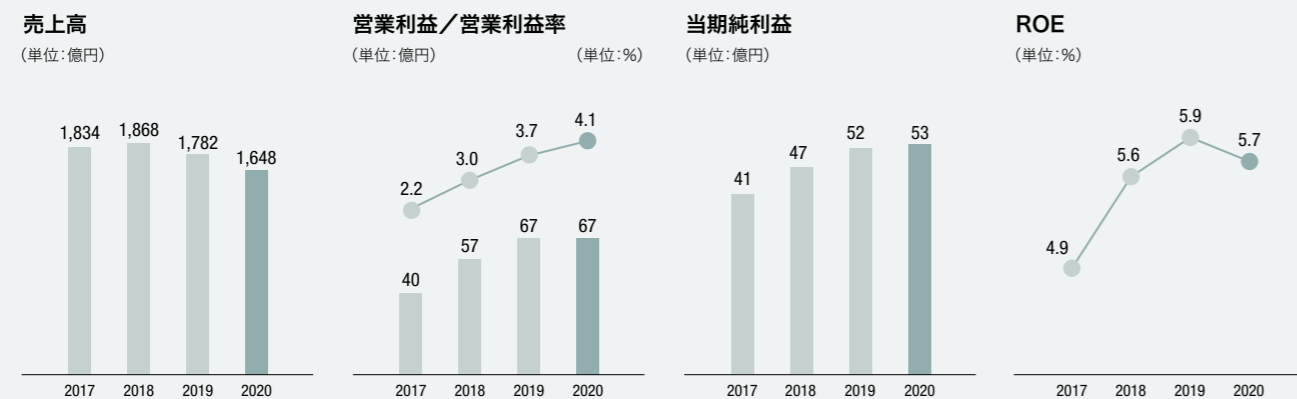
経営数値目標と業績推移

2020年度は第五期中計の最終年度でした。売上高、営業利益は新型コロナウイルス感染症の影響もあり目標には届きませんでしたが、営業利益率、ROE、EPSは目標を達成し、資産効率を改善することができました。

第六期中計は将来の成長実現に向けた変革期と捉え、より高い目標を設定し、取り組みを進めていきます。

連結	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2020年度目標
売上高	1,834億円	1,868億円	1,782億円	1,648億円	2,150億円以上
営業利益	40億円	57億円	67億円	67億円	80億円以上
営業利益率	2.2%	3.0%	3.7%	4.1%	3.5%以上
当期純利益*	41億円	47億円	52億円	53億円	-
ROE	4.9%	5.6%	5.9%	5.7%	5.0%以上

※親会社株主に帰属する当期純利益



成長戦略の進捗

	第五期中計の成果	今後の課題
1. 油脂・育成領域での高付加価値品の拡大	● 高付加価値品の連結売上総利益構成比の拡大	● 高付加価値品のさらなる拡大 ● スペシャルティフード事業の成長
2. ソリューション事業の強化	● ソリューション事業立ち上げ ● 素材×素材の提案力強化による中食・外食への採用増加	● 国内で培った技術・ノウハウの海外展開 ● 事業間シナジーによる新規事業の創出
3. アジアでの事業展開の加速	● マレーシアでのM&Aによる事業展開	● 既存事業の収益化 ● 成長投資・アライアンス推進による事業拡大
4. 油脂製品の収益力強化	● 油脂製品の連結売上総利益率改善	● 油脂汎用品の収益性改善 ● バリューチェーン全体における収益構造の変革

構造改革の進捗

	第五期中計の成果	今後の課題
1. バリューチェーンの効率化・高度化の取り組み推進	● 味の素株式会社との包装材料共同調達 ● AI活用による効率化推進	● システム化推進による効率化の実現 ● 調達から生産・物流・販売にわたるバリューチェーン全体の構造改革
2. 中長期視点での生産拠点最適化	● 日清オイリオグループ株式会社との搾油事業に関する業務提携締結	● 搾油機能の全国統合(2021年5月 検討開始)
3. 選択と集中、および効率化	● 事業譲渡、撤退による効率化推進 ● 油脂製品のSKU削減	● 資産効率の改善 ● SKU削減促進 ● 不採算事業の見直し ● DXの推進 など

経営基盤の強化

	第五期中計の成果	今後の課題
1. ガバナンス	● 社外取締役体制の拡充・多様性の確保 ● 指名諮問委員会、報酬諮問委員会の設置 ● 経営リスク委員会・サステナビリティ委員会の設置	● 取締役会実効性の向上・社内取締役のスキル向上 ● グループガバナンスの強化
2. 組織体制・人事	● 事業本部制導入(役割と責任の明確化) ● 働き方改革・ダイバーシティ推進 ● 人財育成、外部人財の登用	● 成長戦略の加速化に向けた事業体制強化 ● ダイバーシティ、人財育成のさらなる強化 ● マネジメント意識改革
3. キャピタルアロケーション	● 選択と集中による資産効率の改善	● 利益拡大、資産効率化、調達によるキャッシュフローの創出 ● 成長・設備投資、配当へのアロケーション
4. 品質保証	● システム化の推進 ● ISO9001認証の取得(生産・コーポレート部門)	● 顧客との対話 ● 安心感・期待感のさらなる付与
5. IR、SR	● 情報開示体制の充実 ● 情報開示とフェアディスクロージャーの拡充	● 株主層の拡大 ● 当社株式の流動性向上